使用説明書（補足）

α-9の使用説明書と合わせて
お読みください。

お買い上げありがとうございます。

α-9Tiは、ミノルタの最高級オートフォーカス一眼レフカメラα-9にチタン外装を施した、α-9のカメラグランプリ受賞記念の限定モデルです。ボディ外装材には、腐食に強く高強度かつ軽量で高級感のあるチタンや、軽量のマグネシウムダイキャストを採用し、大幅な軽量化を達成しました。ダイヤル表示部には視認性の高い金属銘板を採用し、より高級感を高めています。また、グリップ部に滑りにくい湿式ゴムを採用し、カスタム設定の項目も追加する等、撮影者の立場に立ってより使い勝手の向上を図っています。
α-9で好評の100%ファインダー、5.5コマ／秒（AF追随4.5コマ／秒）のフィルム巻き上げ、分かりやすいダイヤル式操作等は、α-9をそのまま継承しています。もちろん撮影データメモリーバック・縦位置コントロールグリップ等の専用アクセサリーや、数多くのシステムアクセサリーの使用も可能です。

ご使用前に、この使用説明書をよくお読みいただき、末永くこの製品をご愛用ください。

この使用説明書について

α-9Tiは、ほぼすべての機能がα-9と同じなので、カスタム設定以外の操作方法についてはα-9の使用説明書をご覧ください。
カスタム設定（α-9使用説明書80～95ページ）については、α-9Tiで新たに追加された項目等がありますので、本書をご覧ください。
カスタム設定以外のα-9Ti独自の注意事項等に関しては、2ページをご覧ください。

露出モードダイヤル・露出補正ダイヤルの蛍光材について

α-9使用説明書該当ページ：96ページ

● α-9Tiではダイヤル表示部に金属銘板を使用しているため、α-9のダイヤルで採用している蓄光性の蛍光材は使っていません。

ワイヤレスコントローラーIR-1Nを使って内蔵フラッシュ撮影をするとき

α-9使用説明書該当ページ：105ページ

● 最初に送信機の送信ボタンを押すと内蔵フラッシュの充電が始まります。電源・CS切り換えスイッチをSにしている場合、1回目は充電が間に合わないため撮影できないことがあります。この場合は2回目に押したときから撮影されます。
IR-1Nを使って内蔵フラッシュ撮影した場合は、内蔵フラッシュを下げるかメインスイッチをLOCKにするまで、内蔵フラッシュの充電は続きます。電池の消耗を防ぐため、撮影が終わったら内蔵フラッシュを下げるか、メインスイッチをLOCKにしてください。

使用温度について

α-9使用説明書該当ページ：108ページ

● チタンの特性上、真夏の直射日光下にカメラを放置するとカメラの表面がかなり熱くなりますので、ご注意ください。

主な性能

α-9使用説明書該当ページ：111ページ

重さ： 825g（電池別）

カスタム設定

撮影者のお好みの状態にカメラの各種設定を変更できます。さまざまなご要望にも対応できるよう、23にわたる設定の変更が可能となっています。

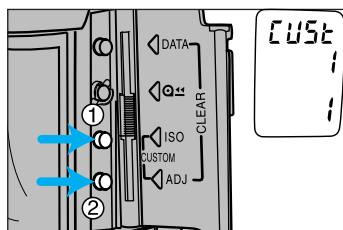
※α-9Tiのカスタム設定で、α-9と異なっている項目は以下の部分です。

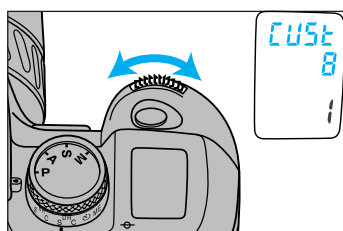
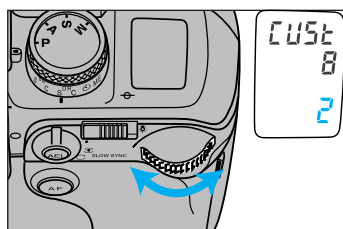
CUST-14　ピントを合わせたローカルフォーカスフレームのファインダー内表示
CUST-18　P/A/Sモード時の前後ダイヤルの機能
CUST-21　露出補正値のボディ表示部での表示
（2に設定した時、露出補正ダイヤルを回すとファインダー下部でも露出補正値を表示します。）
CUST-22　AF補助光（新規追加項目）
CUST-23　非測光時の前後ダイヤルロック（新規追加項目）

カスタム設定一覧表

項目		設定		ページ
CUST-1	オートフォーカス優先／レリーズ優先	1	オートフォーカス優先	7
		2	レリーズ優先	
CUST-2	自動巻き戻し	1	あり	7
		2	なし	
CUST-3	巻き戻したフィルムの先端	1	残さない（パトローネ内に巻き込む）	7－8
		2	残す	
		3	残す（フィルム指定コマ送り機能あり）	
CUST-4	フィルム感度変更記憶	1	なし	9
		2	あり	
CUST-5	フィルム未装填時のレリーズロック	1	なし	9
		2	あり	
CUST-6	フォーカスホールドボタンの機能	1	フォーカスホールド機能	9－10
		2	フォーカスフレームを中央のスポットフォーカスフレームに固定	
		3	コンティニュアスAFに固定	
CUST-7	アイセンサーの作動	1	グリップを握ると作動	10
		2	グリップを握らなくても作動	
CUST-8	フィルムカウンター	1	順算	11
		2	逆算（フィルムの残りのコマ数を表示）	
CUST-9	AFフレーム選択ボタンの機能	1	ワイドフォーカスフレームとローカルフォーカスフレームの切り替え	11
		2	ボタンを押している間、中央のスポットフォーカスフレームを選択	
CUST-10	AEロックボタンの操作方法	1	ボタンを押している間だけ機能する	12
		2	一度押すと機能し、もう一度押すと解除	
CUST-11	ブラケットの撮影順序	1	適正露出→露出アンダー→露出オーバー	12
		2	露出アンダー→適正露出→露出オーバー	
CUST-12	フィルムの巻き戻し速度	1	高速巻き戻し	13
		2	低速（サイレント）巻き戻し	
CUST-13	ボディ表示部の測光値表示保持時間	1	5秒	13
		2	10秒	
		3	30秒	
CUST-14	ピントを合わせたローカルフォーカスフレームのファインダー内表示	1	フォーカスロック時に表示（約0.1秒）	14
		2	フォーカスロック時に表示（約0.6秒）	
		3	AFフレーム選択ボタンを押したときのみ表示	

項目		設定		ページ
CUST-15	アイスタートスイッチの機能	1	アイスタート機能のON/OFF切り替え	14
		2	前後ダイヤル機能ロック有効／無効の切り替え（アイスタートは常にON）	
		3	前後ダイヤル機能ロック有効／無効の切り替え（アイスタートは常にOFF）	
CUST-16	レンズ未装着時のレリーズロック	1	あり	15
		2	なし	
CUST-17	オートフォーカス駆動速度	1	高速（スピード重視）	15
		2	低速（サイレント駆動）	
CUST-18	P/A/Sモード時の前後ダイヤルの機能	1	P：前後ダイヤルとも機能なし A：前後ダイヤルとも絞り値の設定 S：前後ダイヤルともシャッター速度の設定	16－17
		2	P：前ダイヤルでPs、後ダイヤルでPA A：前後ダイヤルとも絞り値の設定 S：前後ダイヤルともシャッター速度の設定	
		3	P：前ダイヤルでPA 後ダイヤルで露出補正値の設定 A：前ダイヤルで絞り値の設定 後ダイヤルで露出補正値の設定 S：前ダイヤルでシャッター速度の設定 後ダイヤルで露出補正値の設定	
		4	P：前ダイヤルでPs 後ダイヤルで露出補正値の設定 A：前ダイヤルで絞り値の設定 後ダイヤルで露出補正値の設定 S：前ダイヤルでシャッター速度の設定 後ダイヤルで露出補正値の設定	
CUST-19	前後ダイヤルの機能の入れ替え	1	CUST-18通りの前後ダイヤル機能	18
		2	CUST-18と逆の前後ダイヤル機能	
CUST-20	フラッシュ調光方式	1	4分割調光	18
		2	平均調光	
		3	スポット調光（ローカルフォーカスフレーム連動）	
CUST-21	露出補正値のボディ表示部での表示	1	なし	19
		2	あり（露出補正ダイヤル操作中のみ）	
CUST-22	AF補助光	1	必要時に自動発光	19
		2	なし	
CUST-23	非測光時の前後ダイヤルロック	1	なし	20
		2	あり	

カスタム設定方法

1.グリップドアを開け、フィルム感度設定（ISO）ボタンを押し①、続けてアジャスト（ADJ.）ボタンを押します②。

●カスタム設定の項目（CUSt 1〜CUSt 23）が表示されます。

2.前ダイヤルを回して、変更したい項目（CUSt 1〜CUSt 23）を選びます（4〜5ページ参照）。

3.後ダイヤルを回して、設定を変更します。

4.シャッターボタンを半押しします。

●通常の撮影表示に戻ります。

●お買い上げ時には、設定はすべて「1」になっています。
●設定した内容は、カメラの電源を切っても、電池を抜いても、保持されています。
●カスタム設定すべてを初期状態（設定番号1）に戻すには、いったんメインスイッチをLOCKにした後、アジャストボタンを押しながらメインスイッチをONにします。ボディ表示部に「CLr」が点滅して、カスタム設定が初期状態になったことをお知らせします。

カスタム設定詳細

お買い上げ時には、設定はすべて「1」になっています。

CUST-1 オートフォーカス優先／レリーズ優先

1. オートフォーカス優先

ピントが合わなければシャッターは切れません。

2. レリーズ優先

ピントが合っていなくても、シャッターボタンを押したときにシャッターが切れます。

●シャッターチャンスを逃さずに撮影することができます。
●ボディ表示部には「RP」が表示されます。
●ファインダー内の●または(●)が点灯してから（ピントが合ってから）撮影することをおすすめします。

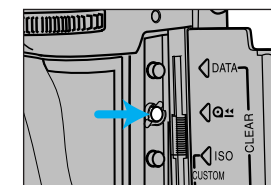
CUST-2 自動巻き戻し

1. 自動巻き戻しあり

最後のコマを撮影すると、自動的に巻き戻しが始まります。

2. 自動巻き戻しなし

最後のコマを撮影しても、巻き戻しは始まりません。巻き戻しを始めるときは、グリップドアを開け、途中巻き戻しボタンを押してください。

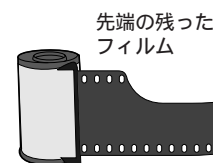
●結婚式など、巻き戻しの音を立てたくないときに便利です。

途中巻き戻しボタン

CUST-3 巻き戻したフィルムの先端

1. フィルムの先端を残さない

巻き戻したフィルムは、すべてパトローネ内に巻き込まれます。

2. フィルムの先端を残す

巻き戻したフィルムはすべてパトローネ内に巻き込まれず、先端が少しパトローネの外に残ります。

3. フィルムの先端を残す（フィルム指定コマ送り機能あり）

最終コマになる前に途中で巻き戻したフィルムを、もう一度カメラに入れたときに、撮影者が指定したコマ（通常は未露光部分の始めのところ）までフィルムを進めることができます。再装填することを前提にしていますので、巻き戻したフィルムの先端は常にパトローネの外に残ります。

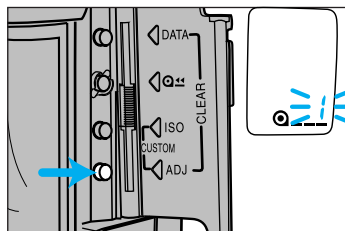
- 感度の違うフィルムや、ネガフィルム・リバーサルフィルムを、撮影場面によって使い分けたりするときに便利です。
- 何コマ目で途中巻き戻しをしたか（何コマ目までフィルムを送るか）は、撮影者ご自身でお決めください。未露光部分の開始位置をカメラが検知することはできません。
- フィルムの先端の引き出し方によって、各コマの露光位置がずれることがあります。撮影済みのコマより2コマほど多めにフィルムを送ってください。

フィルム指定コマ送り機能の操作方法

例：12コマ目まで撮影済みのフィルムを再装填し、14コマ目まで送る場合

1.カスタム設定で、CUST-3を3に設定します。

2.12コマ目まで撮影済みのフィルムをカメラに入れます。

- 通常通りフィルムが1コマ目まで進み、フィルムカウンターが「1」になります。

3.グリップドアを開け、アジャスト（ADJ.）ボタンを3秒以上押し続けます。

- フィルムカウンターの「1」が点滅を始めます。

4.「1」が点滅中に前または後ダイヤルを回して、「14」を選びます。

5.アジャストボタンを押します。

- フィルムが14コマ目まで自動的に送られます。

- 途中巻き戻しや再装填を繰り返すと、ホコリ等でフィルムが傷つく可能性があります。
- フィルムカウンターが「1」以外のときには、フィルム指定コマ送り機能は使えません。

CUST-4 フィルム感度変更記憶

1. フィルム感度変更記憶なし

撮影者がフィルム感度の設定・変更を行った場合でも、その設定は該当するフィルム１本のみのものとして扱われます。

2. フィルム感度変更記憶あり

撮影者がフィルム感度の設定・変更を行った場合、次に同じ感度のフィルムを入れると、同様の変更が自動的になされます。（例：ISO 50のフィルムをISO 40に変更した場合、次にISO 50のフィルムを入れると、フィルム感度は自動的にISO 40になります。）

- リバーサルフィルムを頻繁に好みの感度に合わせて使われる方に便利です。
- いったん違う感度のフィルムを入れると、記憶されたフィルム感度はリセットされます。

CUST-5 フィルム未装填時のレリーズロック

1. フィルム未装填時のレリーズロックなし

カメラにフィルムを入れなくても、シャッターを切ることができます。

2. フィルム未装填時のレリーズロックあり

フィルムが入ってなければシャッターは切れません。

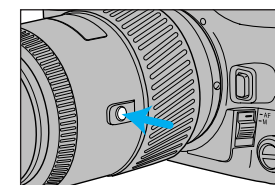
- フィルムを入れ忘れたまま撮影するという失敗を防ぎます。
- フィルムを入れずにシャッターボタンを押すと、シャッターは切れず、ボディ表示部とファインダー内の「0」が点滅します。
- フィルムを入れていなくても、ボディ表示部照明スイッチを押しながら、または裏ぶたを開けたままの状態だと、シャッターを切ることができます。

CUST-6 フォーカスホールドボタンの機能

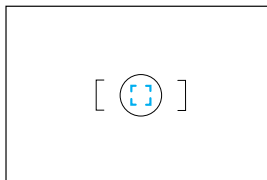
レンズ上のフォーカスホールドボタンの機能を変更します（フォーカスホールドボタン付きのレンズのみ）。

フォーカスホールドボタン

1. フォーカスホールド機能

フォーカスホールドボタンを押している間、ピント位置が固定されます。

2. フォーカスフレームを中央のスポットフォーカスフレームに固定

フォーカスホールドボタンを押している間、ピント合わせはワイドフォーカスフレームではなく、中央のスポットフォーカスフレームで行なわれます。

● 大勢の中の一人にピントを合わせたりするときに便利です。

スポットフォーカスフレーム

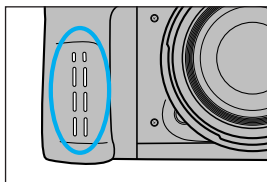
3. コンティニュアスAFに固定

フォーカスホールドボタンを押している間、コンティニュアスAFになり、ピントを合わせ続けます。

● 動いているものを撮影するときに便利です。

CUST-7 アイセンサーの作動

メインスイッチがONの状態でグリップを握ると、グリップセンサーがそれを検知して、アイセンサーの作動を開始させます。アイセンサーが作動しているときにファインダーに顔を近付けると、カメラを構えていると分かるので、撮影準備（ピント合わせと露出の決定）が行なわれます。

● アイスタートスイッチをOFFにしているときは、この設定は関係ありません。

グリップセンサー

1. グリップを握ると作動

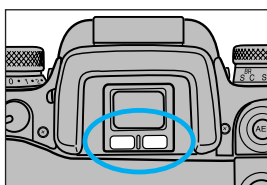
グリップを握ったことをグリップセンサーが検知すると、アイセンサーの作動が開始します。

アイセンサー

2. グリップを握らなくても作動

メインスイッチをONにすると、グリップを握らなくても、すぐにアイセンサーの作動が開始します。

● カメラを三脚に取り付けているとき、手袋をしているときなどに便利です。

● この設定にすると、メインスイッチをONにしただけでアイセンサーの検知が始まります。電池の消耗を防ぐため、カメラを使わないときにはメインスイッチをできるだけOFFにしてください。

CUST-8 フィルムカウンター

1. 順算フィルムカウンター

フィルムを入れると、フィルムカウンターが「1」になり、撮影するたびに1つずつ増えて行きます。

2. 逆算フィルムカウンター

フィルムカウンターには、フィルムの残りのコマ数が表示されます。

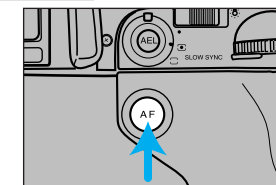
● DXコードの付いていないフィルム、またはDXコードがあってもフィルム枚数情報を持っていないフィルムの場合は、順算フィルムカウンターのままになります。

CUST-9 AFフレーム選択ボタンの機能

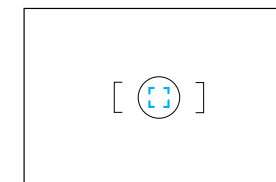
AFフレーム選択ボタンの機能を変更します。

1. ワイドフォーカスフレームとローカルフォーカスフレームの切り替え

AFフレーム選択ボタンを押している間にダイヤルを回すと、ピントを合わせるローカルフォーカスフレームを選ぶことができます（α-9使用説明書31ページ参照）。

● ご自分で自由にピント位置を決められたいときに便利です。

AFフレーム選択ボタン

2. 押している間、中央のスポットフォーカスフレームを選択

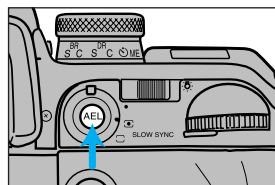
AFフレーム選択ボタンを押している間、ピント合わせはワイドフォーカスフレームではなく、中央のスポットフォーカスフレームで行なわれます。

スポットフォーカスフレーム

CUST-10 AEロックボタンの操作方法

AEロックボタンの操作方法を変更します。

AEロックボタン

1. ボタンを押している間だけ機能する

AEロックボタンを押している間のみ、AEロックまたはスローシンクロ等になります。ボタンを押しながらシャッターを切ってください。

2. 一度ボタンを押すと機能し、もう一度押すと解除

AEロックボタンを一度押して離すと、AEロックまたはスローシンクロ等になります。シャッターを切るときに、AEロックボタンを押し続ける必要がありません。解除するときは、もう一度AEロックボタンを押してください。

- 機能している間は、ファインダー内にAELが表示されます。
- フラッシュ発光の有無を切り替える、メインスイッチをOFFにする等の操作でも解除されます。

CUST-11 ブラケットの撮影順序

ブラケット撮影、フラッシュブラケット撮影の撮影順序を変更することができます。ここで選択した設定は、ブラケット撮影、フラッシュブラケット撮影の両方に適用されます。

1. 適正露出→露出アンダー→露出オーバー

最もシャッターチャンスの大きい1枚目が適正露出になり、後になるほど露出のずれ量が大きくなります。

- 例：ブラケット段数0.5段、撮影枚数5枚の場合
  ±0段 → −0.5段 → ＋0.5段 → −1.0段 → +1.0段

2. 露出アンダー→適正露出→露出オーバー

露出が暗いほうから順に並びます。

- 例：ブラケット段数0.5段、撮影枚数5枚の場合
  −1.0段 → −0.5段 → ±0段 → ＋0.5段 → +1.0段
- リバーサルフィルムのスリーブ仕上げなどの際に便利です。

CUST-12 フィルムの巻き戻し速度

フィルムの巻き戻し速度を変更します。自動巻き戻し、途中巻き戻しともに有効です。

1. 高速巻き戻し

36枚撮りフィルムを約6秒、24枚撮りフィルムを約4秒の速度で巻き戻します。

2. 低速（サイレント）巻き戻し

巻き戻しの音が小さくなります。巻き戻し速度はやや遅くなります（36枚撮りフィルムで約9秒、24枚撮りフィルムで約5秒）。

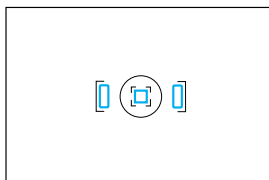
CUST-13 ボディ表示部の測光値表示保持時間

シャッターボタンを半押しすると、カメラの測光値（シャッター速度と絞り値）がボディ表示部に表示されます。その表示保持時間を変更します。表示部の照明の点灯時間も同時に変更されます。

1. 5秒　**2. 10秒**　**3. 30秒**

- 10秒、30秒設定は、測光値表示の消灯が早くて操作しにくい場合にお使いください。
- 10秒、30秒に設定すると、電池の消耗が早くなり、撮影可能本数が記載値よりも少なくなります。

CUST-14 ピントを合わせたローカルフォーカスフレームのファインダー内表示

３つのローカルフォーカスフレーム（センサー部）のうち、ピントの合ったフレームが一瞬赤く点灯します。点灯時間等を変更することができます。

ローカルフォーカスフレーム

1. フォーカスロック時に表示（約0.1秒）
2. フォーカスロック時に表示（約0.6秒）

シャッターボタンを半押しするなど、ピント位置が固定されたときに点灯します。
● AFフレーム選択ボタンを押したときにも点灯します。

3. AFフレーム選択ボタンを押したときのみ表示

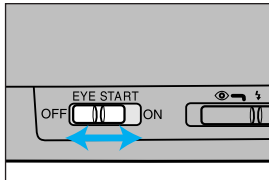
AFフレーム選択ボタンを押したときのみ点灯します。
● シャッターボタン半押しでは点灯しません。シャッターを切るたびに点灯するのがわずらわしい場合にご使用ください。

CUST-15 アイスタートスイッチの機能

アイスタートスイッチの機能を変更します。

アイスタートスイッチ

1. アイスタート機能のON/OFF切り替え

ONにするとアイスタート機能が働き、OFFにすると働きません。

2. 前後ダイヤル機能ロック有効／無効の切り替え（アイスタートは常にON）

アイスタートスイッチが前後ダイヤル機能ロックスイッチとなります。ONにするとダイヤル機能がロックされ、ダイヤルを回してもいっさい操作を受け付けなくなります。OFFにするとダイヤル操作が可能となります。アイスタートは常に機能している状態になります。
● ダイヤル機能ロックONは、誤って前後ダイヤルを回しても設定が変わらないようにしたいときにお使いください。

3. 前後ダイヤル機能ロック有効／無効の切り替え（アイスタートは常にOFF）

アイスタートスイッチが前後ダイヤル機能ロックスイッチとなります。アイスタートは一切機能しません。
● アイスタートが機能しないという点以外は、設定2と同じです。

CUST-16 レンズ未装着時のレリーズロック

1. レンズ未装着時のレリーズロックあり

カメラにフィルムが入っている場合、レンズを取り付けていなければシャッターは切れません。
● レンズが取り付けられていない状態で誤って撮影が行われるのを防ぎます。
● シャッターボタンを押すと、ボディ表示部に「- -」が点灯または点滅します。

2. レンズ未装着時のレリーズロックなし

フィルムが入っていてレンズが取り付けられていなくても、シャッターを切ることができます。
● カメラを天体望遠鏡に取り付ける場合など、ミノルタAFレンズ以外のレンズで撮影したいときにご使用ください。

CUST-17 オートフォーカス駆動速度

オートフォーカスの速度を変更します。

1. オートフォーカス高速駆動（スピード重視）

最速でオートフォーカスが作動してピントを合わせます。

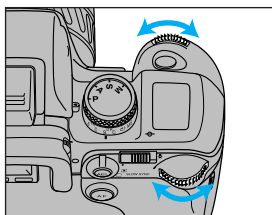
2. オートフォーカス低速駆動（サイレント駆動）

オートフォーカスの音が小さくなります。また、ピントが合いにくいものにも合わせやすくなります。
● 静かに撮影したい場合、暗い場面やクローズアップでピントが合いにくい場合などに便利です。

CUST-18 P/A/Sモード時の前後ダイヤルの機能

P/A/Sモード時の前後ダイヤルの機能を変更します。

1. 基本設定

	前ダイヤル	後ダイヤル
Pモード	機能なし	機能なし
Aモード	絞り値の設定	絞り値の設定
Sモード	シャッター速度の設定	シャッター速度の設定

前ダイヤルと後ダイヤル

2. PモードでPA/Psシフト

	前ダイヤル	後ダイヤル
Pモード	Psシフト	PAシフト
Aモード	絞り値の設定	絞り値の設定
Sモード	シャッター速度の設定	シャッター速度の設定

Pモードで、測光値（絞り値とシャッター速度）が表示されている状態でダイヤルを回すと、一時的に絞り値とシャッター速度の組み合わせを変更することができます。
後ダイヤルと回すと、希望の絞り値を選択することができます（PAシフト）。
前ダイヤルと回すと、希望のシャッター速度を選択することができます（Psシフト）。

●フラッシュは使用できません。フラッシュが発光する場合は、ダイヤルを回しても数値は変わりません。
●測光値保持時間（13ページ参照）を過ぎて測光値が消えたり、フラッシュをONにしたりすると、選択した絞り値／シャッター速度も解除されます。
●絞り値やシャッター速度が点滅している場合は、適正露出が得られません。点滅しなくなるまでダイヤルを回してください。

3. 後ダイヤルで露出補正値の設定（Pモードで前ダイヤルはPAシフト）

	前ダイヤル	後ダイヤル
Pモード	PAシフト	露出補正値の設定
Aモード	絞り値の設定	露出補正値の設定
Sモード	シャッター速度の設定	露出補正値の設定

P/A/Sモードとも、後ダイヤルを回すと露出補正値の設定になります。
Pモードで前ダイヤルと回すと、希望の絞り値を選択することができます（PAシフト）。

●大きめのレンズを手持ちで撮影するときなど、レンズから左手を離しにくい場合に便利です。
●露出補正ダイヤルが０の位置でのみこの機能は有効です。０以外だと、露出補正ダイヤルの設定が優先されます。
●設定した露出補正量は、ファインダー表示部（右側の測光インジケーターと下側の両方）に表示されます。下側の表示には＋/－の符号は現れません。
●露出補正ダイヤルが1/2段ステップになっていれば、後ダイヤルを回しても1/2段ごとの補正になります。1/3段ステップも同様です。
●1/3段ステップの場合、露出補正ダイヤルを使うと露出補正範囲は±2段まででですが、後ダイヤルを使うこの方法だと、±3段までの補正が可能です。

4. 後ダイヤルで露出補正値の設定（Pモードで前ダイヤルはPsシフト）

	前ダイヤル	後ダイヤル
Pモード	Psシフト	露出補正値の設定
Aモード	絞り値の設定	露出補正値の設定
Sモード	シャッター速度の設定	露出補正値の設定

P/A/Sモードとも、後ダイヤルを回すと露出補正値の設定になります。
Pモードで前ダイヤルと回すと、希望のシャッター速度を選択することができます（Psシフト）。

●設定3のPAシフトがPsシフトになったものです。上記の注意事項も合わせてお読みください。

CUST-19 前後ダイヤルの機能の入れ替え

CUST-18の前ダイヤルと後ダイヤルの機能をそっくり入れ替えることができます。

1. CUST-18通りの前後ダイヤル機能

2. CUST-18と逆の前後ダイヤル機能

● ブラケット撮影設定、撮影データの読み出し、カスタム設定時には、前後ダイヤル機能は入れ替わりません。

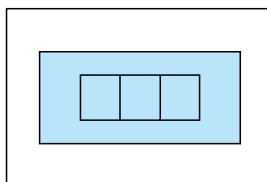
CUST-20 フラッシュ調光方式

このカメラには、フラッシュ調光として4分割TTLダイレクト調光方式が採用されていますが、撮影者の好みによって変更することができます。

● 内蔵フラッシュにも別売りのプログラムフラッシュにも共通です。

1. 4分割調光

フラッシュ発光時には4分割フラッシュ調光方式を使って露出を決定します。

● オートフォーカスと連動しているので、カメラが被写体の位置と明るさを的確に判断し、露出を決定します。

4分割調光素子

2. 平均調光

フラッシュ発光時には、画面全体の明るさを平均的に調光します。

● 従来の分割のないTTL調光方式で撮影したい方に便利です。

3. スポット調光

4分割調光素子のうち、ピントの合った部分のローカルフォーカスフレーム位置に該当する素子のみを使用して調光します。

● シャッターボタンを半押しした状態で構図を変えないでください。半押しでフォーカスロックされたローカルフォーカスフレームの位置の素子がそのままフラッシュ調光に使われるため、撮影時にその部分に被写体がないと、適正露出が得られません（スポット調光時のみ）。

CUST-21 露出補正値のボディ表示部での表示

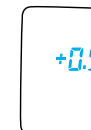
1. 露出補正値のボディ表示部での表示なし

露出補正ダイヤルを回して露出補正を行う場合、ボディ表示部には何も表示されません。

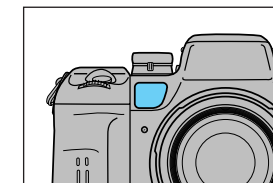
2. 露出補正値のボディ表示部での表示あり

露出補正ダイヤルを回して露出補正を行う場合、ボディ表示部に設定中の露出補正量が表示されます（2秒間のみ）。

● CUST-18を3または4にして、後ダイヤルで露出補正値を設定する場合にも有効です。

● 設定した露出補正量は、ファインダー表示部（右側の測光インジケーターと下側の両方）にも表示されます。下側の表示には＋/－の符号は現れません。

CUST-22 AF補助光

1. AF補助光は必要時に自動発光

被写体が暗いときやコントラスト（明暗差）が小さいときは、シャッターボタンを半押しするとカメラ前面のAF補助光が自動的に光ります。これにより、オートフォーカスの難しい場面でのピント合わせを可能にします（α-9使用説明書34ページ参照）。

AF補助光

2. AF補助光の発光なし

AF補助光は発光しません。

● プログラムフラッシュを取り付けているときは、プログラムフラッシュのAF補助光も発光しません。

● 被写体が暗いときやコントラスト（明暗差）が小さいときは、ピントが合いにくくなります。

CUST-23 非測光時の前後ダイヤルロック

測光された絞り値とシャッター速度の表示が消えると、前後ダイヤルの操作を受け付けなくすることができます。

1．非測光時の前後ダイヤルロックなし

測光された絞り値とシャッター速度が保持されている間（測光時間中）や非測光時間中にかかわらず、前後ダイヤルは機能します。

2．非測光時の前後ダイヤルロックあり

シャッターボタンの半押しを止めてから5秒後（アイスタートの場合は、ファインダーから顔を離してから5秒後）には、測光された絞り値とシャッター速度が解除されて表示が消えます。消えた後（非測光時間中）は前後ダイヤルが機能せず、回しても操作を受け付けなくなります。

- A/S/M/PA/PsモードやＩ後ダイヤルによる露出補正設定時（CUST-18）に、誤ってダイヤルを回して設定を変えたくないときに便利です。
- 表示保持時間（初期設定5秒）は、CUST-13により変更できます。
- グリップドア内のボタン操作の伴うもの（ブラケット設定、撮影データメモリー操作など）およびファインダー内にAELが表示されている間は、ダイヤルはロックされず、常に操作することができます。
- Mモードではボディ表示部には常に絞り値とシャッター速度が表示されますが、測光中でない限り前後ダイヤルは機能しません。

ミノルタ株式会社
ミノルタ販売株式会社

使い方に関する不明な点は、下記住所のフォトアドバイザーがお答えいたします。

サービスセンター

新　宿	〒160-0022	東京都新宿区新宿3-17-5（カワセビル3階）	TEL（03）3356-6281㈹
大　阪	〒530-0001	大阪市北区梅田1-11（大阪駅前第4ビル7階）	TEL（06）6341-6501㈹

サービスステーション

札　幌	〒060-0807	札幌市北区北7条西1-1-5（丸増ビルNo.18）	TEL（011）737-1212㈹
仙　台	〒980-0802	仙台市青葉区二日町14-15（アミ・グランデ二日町ビル3階）	TEL（022）261-3431㈹
横　浜	〒231-0015	横浜市中区尾上町4-47（大和横浜ビル3階）	TEL（045）663-1445㈹
静　岡	〒420-0857	静岡市御幸町5-9（静岡FSビル7階）	TEL（054）251-7301㈹
名古屋	〒460-0002	名古屋市中区丸の内1-4-12（アレックスビル4階）	TEL（052）239-1251㈹
広　島	〒730-0041	広島市中区小町3-25（住金物産広島ビル1階）	TEL（082）247-3978㈹
高　松	〒760-0078	高松市今里町1-17-20	TEL（087）835-5568㈹
福　岡	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3-4-10（コマバビル1階）	TEL（092）441-6121㈹

営業時間 ‥‥‥‥‥‥‥‥新宿・大阪　10:00〜18:00（日曜・祝日定休）
その他　9:00〜17:30（土曜・日曜・祝日定休）

9223-2098-55 P-A910